

新発見！天正遣欧少年使節
伊東マンショの肖像画 公開記念

トリヴルツィオ財団 理事長 **講演会**
ジャンジャコモ・アットリコ・トリヴルツィオ氏

～伊東マンショの肖像画の発見～

2016年
5月23日(月) 14:00～15:00

会場：長崎歴史文化博物館 1階ホール
定員：140名 ※事前申込不要・聴講無料

2013年にイタリアで発見されたドメニコ・ティントレット作「伊東マンショ肖像画」の今夏公開に先がけ、この肖像画を所有するイタリア・トリヴルツィオ財団の理事長による講演会を開催します。



ジャンジャコモ・アットリコ・トリヴルツィオ氏

日伊国交樹立150周年記念事業

新発見！天正遣欧少年使節 伊東マンショの肖像

2016年7月22日(金)～8月31日(水) 長崎歴史文化博物館



[時間] 8:30～19:00 (最終入館18:30) [会場] 2階美術展示室
[観覧料] 大人600円・小中高校生300円
※長崎県内の小中学生無料

ドメニコ・ティントレット《伊東マンショ肖像画》

1585年頃 ミラノ・トリヴルツィオ財団蔵

2009年同財団がコレクション整理作業中に、東洋風の青年が描かれ、カンヴァス裏面に「Mansio」と記されている本作品を確認。以降、調査研究が進められ、2013年に論文発表、日本にも2014年に発見が報道された。

ヴェネツィアの画家・ヤコボ・ティントレット (1519-94) が、ヴェネツィア共和国評議会より受注し、息子のドメニコ・ティントレット (1560-1635) が完成させた。ローマ滞在後の天正遣欧少年使節がヴェネツィア共和国を訪問した (1585年6月26日～7月6日) のを記念して、当初4少年の像を描くことが計画されたが、父ヤコボの死等により、伊東マンショ一人のみの完成となった。またX線撮影により、服装も1580年代に流行のものから、ドメニコ活躍期の17世紀初頭の流行 (大きな襟等) に描き変えられたことがわかった。